



## 意外と知らない?! ビジネスマナーのおさらい

普段生活している中であまり気にかけていなくても、ビジネスシーンなどで「これで合っているのかな？」と、急にマナーについて不安になることも。

そこで本号では、遭遇する可能性が高いと筆者が考えるマナーについて注目してみました。



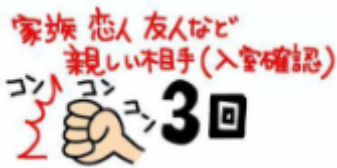
### ドアのノックの回数は何回が良い？

ノックの回数には諸説ありますが、一般的には回数を使い分けすると良いようです。



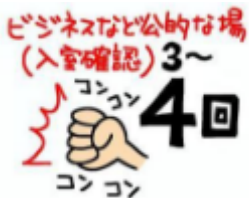
#### 【2回のノック】

日本ではこの回数が一番多いと言われてはいますが、実は、2回はトイレの空き室を確認するために用いるのが一般的です。



#### 【3回のノック】

家族や友人・知人などの親しい間柄で用いることが多いようです。



#### 【4回のノック】

**プロトコルマナー（国際標準マナー）**では4回とされています。なお、続けてノックするのではなく、「コンコン、コンコン」と2回に分けると耳ざわりが良く、スマートな印象を与えるようです。

★サラリーマン歴30年の筆者の感覚では、3回のノックが違和感なく、かつ、失礼にも当たらないために良いのではと考えます。



ドアをノックしたら反応を待ち、「どうぞ」という声が聞こえてきたら「失礼いたします」と言い、ゆったりとしたスピードを意識しながら入室しましょう。

間違いやすい敬語に注意！

### 間違いやすい敬語を確認しましょう

× こちらが商品になります

○ こちらが商品でございます

× 恐れ入りますがお名前を頂戴できますか？  
(いただけますか?)

○ 恐れ入りますがお名前を教えてくださいませんか？

× 社長様がおっしゃられていました

○ 社長様がおっしゃっていました

× 田中様はコーヒーでいらっしゃいますね？

○ 田中様はコーヒーでございますね？

★上記例示は筆者の感覚的な判断も含まれていますのでご了承ください。

# 【席次の基本】上座・下座のマナー

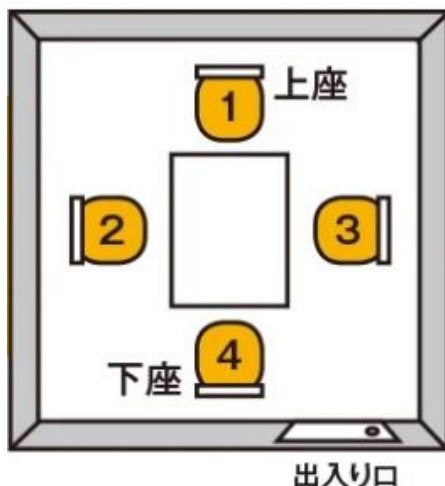
## ➤ 上座・下座とは

席次には「上座」と「下座」があります。「上座」とは、一番目上の方や年長の方が座る席のこと。出入り口から一番遠い席とされています。一方「下座」とは、一般的には、出入り口から一番近い席のことを指します。

日本独特の文化といえるもので、入り口から遠い「**落ち着いて過ごせる場所**」に目上の方をお通しするという**おもてなしの心**が、席次ルールの基本です。

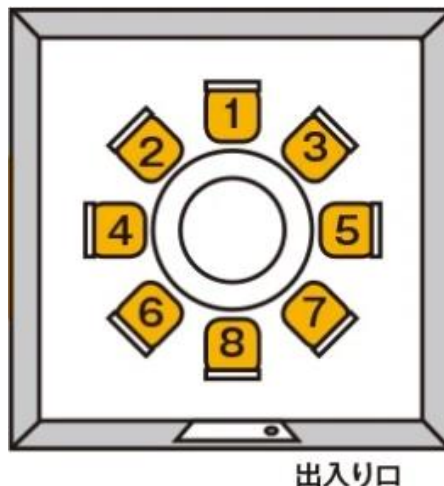
### 【テーブル席】

出入り口から見て真正面が上座となり、入り口に近づくほど下座になる。



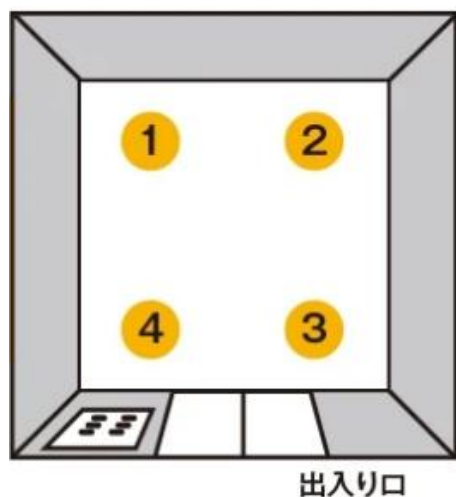
### 【円卓】

出入り口から一番遠い席が上座となり、出入り口から見て左、右、の順で下座に向かう。



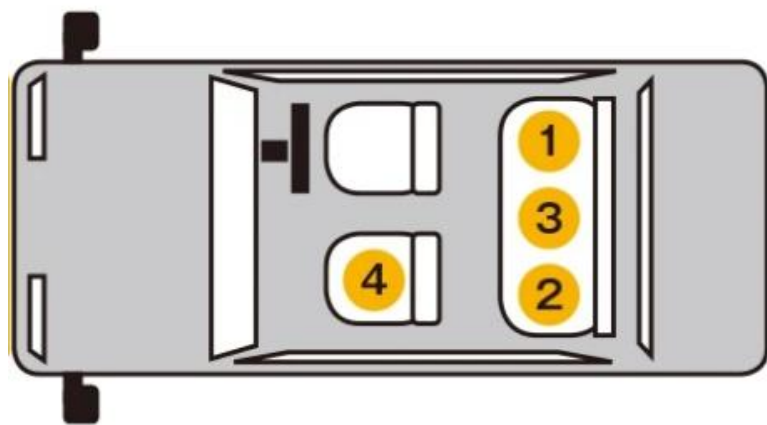
### 【エレベーター】

操作盤の前が最も下座で、その後ろが最も上座。なお、乗客が多い場合には無理をして順番にこだわらない。



### 【タクシー】

運転席の後ろが最も上座で、助手席が最も下座。なお、後列の真ん中の席に座る方には「真ん中でよろしいですか？」と一声かけましょう。



マナーはありますが、席次は「**もてなす心**」が「**基本**」となっています。  
「**本来はこちらが上座ですが…**」という言葉添えて、臨機応変に状況に応じて、より良い席にご案内することが大事です。

弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”

[アンケート-東京セントラル\(tokyo-central.co.jp\)](http://tokyo-central.co.jp)



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。